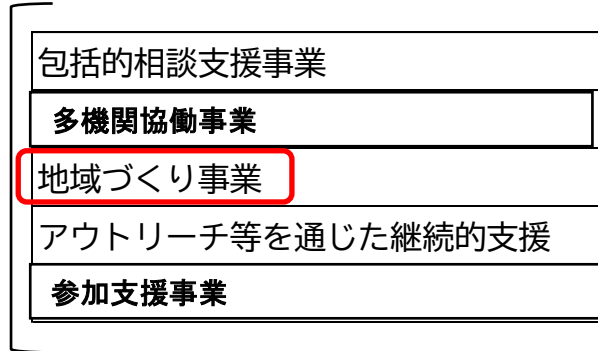
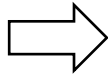


令和7年度「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」 評価について

1 事業の位置づけ

重層的支援体制
整備事業



2 事業目標

地域におけるつながりの中で、住民が抱える多様なニーズや生活課題に柔軟に対応できるよう、住民主体の活動支援・情報発信、地域コミュニティを形成する居場所づくり、多様な担い手が連携する仕組みづくりを行うこと等を通じて、身近な地域における共助の取り組みを活性化させ、地域福祉の推進を図ります。

3 令和7年度の実施内容および進捗状況

【実施方針】

住民による協働、かつ分野や地区を超え、関心ごとや目的にあわせた地域を支える基盤を構築するための情報提供や機会づくりを行います。

【実施内容および進捗状況】

①地域住民のニーズ・生活課題の把握

→小学校区ごとに「地域診断シート」を作成しました。

②地域住民の活動支援・情報発信等

・冊子等の発行による活動支援・情報発信

冊子名	進捗状況
地域資源マップ	3,000部発行済
さんだつながりバンク	改定作業中 R8.3 発行予定
見守りネットワークハンドブック	改定作業中
地域活動情報紙「たんぽぽ」	R7.10 発行済 R8.3 発行予定
企業の社会貢献を取りまとめた地域住民向け冊子	協力企業28社 策定作業中

・地域福祉フォーラムの開催

→R8.2.7 開催済

③行政や地域住民、NPO法人等の地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開

・専門職向け地域福祉推進研修会の開催

→R7.12.22 開催済

・ふれあい活動推進協議会長会の開催

→令和7年度に3回開催済

4 地域における共助の取組に関する事例報告

資料3-2 参照

5 今後の取組

○見守りネットワークハンドブック

(課題)

地域において見守りにおける個人情報に対する理解・浸透が難しく、住民とともに共有し、学ぶ機会が必要。

○企業の社会貢献を取りまとめた地域住民向け冊子

(課題)

冊子に掲載されたくない企業も多くあるため、企業に限らず団体や個人なども含め貢献の形をイメージしやすくするための取り上げ方の検討が必要。

○「地域診断シート」の検証に基づく、地域の実情に応じた活動の促進